

## 令和2年度 第1回学校評議員会 報告

I 日時 令和2年 7月 1日 (水) 10:00～12:00

II 場所 本校会議室

III 出席者 学校評議員

A委員 学識経験者  
B委員 行政関係者  
C委員 地域関係者 1  
D委員 地域関係者 2  
E委員 地域関係者 3  
F委員 PTA関係者  
G委員 OB校長

以上 7名

学校職員

校長、副校長(3)、事務長、総括教務主任、地域連携主任兼小学部主事、  
高等部主事、寮務主任、相談支援部副部長、進路指導主事、  
セレモニー部長

以上 12名

(欠席：中学部主事1名)

### IV 内容

#### 1 委嘱、開会

##### (1) 委嘱

・校長室において、校長から手交

##### (2) 校長挨拶

・保護者、地域から評価される学校運営をしていきたい。  
・コロナウイルスの影響で様々な教育活動に影響が出ているが、  
一丸となって最大限努力していく。

##### (3) 出席者紹介

・自己紹介

##### (4) 日程説明

・副校長から日程の説明

#### 2 学校評議員会

##### (1) 令和2年度学校経営の説明

###### ア 学校経営方針

◎ 校長より 学校要覧およびスライドで、学校経営方針について説明  
50周年に向け、地域との連携を図り、さらにコミュニティ・スクールの導入に向けて、  
地域の皆さんの協力をいただきたいので、よろしくお願いします。

###### イ 学校概要

◎ 副校長より スライドで学校概要や学部の取組について説明

###### ウ 資料3～5については、資料提示のみ

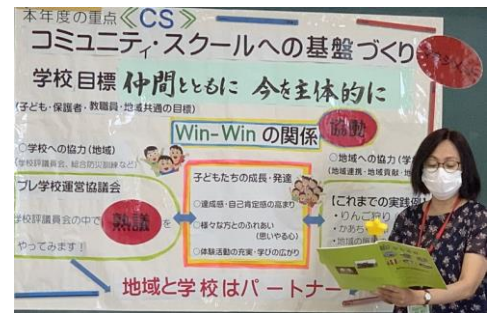
##### (2) 授業参観等

副校長・学部主事・寮務主任の案内で、寄宿舍、小学部、中学部、高等部の施設見学及び授業参観を行った。



### (3) コミュニティ・スクールの説明

- ◎ 今年度の重点として取り組む地域連携構想案「コミュニティ・スクールの基盤づくり」についてプレゼンテーションし、これまでの地域連携活動の様子を写真で紹介した。
- ◎ 小学部は、リンゴ狩りや収穫したリンゴでのパーティーの様子、中学部は、かあちゃん市の様子、高等部は、カボチャ畑の草取りや校外清掃活動の様子、学校としてふれあい文化祭の取組を紹介した。
- ◎ 今年度は地域の方とクップ交流を実施した。



### (4) 質疑及び提言

#### 【C委員】

- ◎ 太田地区にある農業用水用貯水槽の壁面の塗り直しを来年度に1基、その翌年にもう1基お願いしたい。太田地区老人クラブの方々と一緒に取り組んでもらう。予算も地域で出す。
- ◎ 太田地区はコミュニティ・スクールの先駆けとなる内容で今までいろいろと清風支援学校と関わりを持ってきた。先生方と児童生徒の意識づけが大事にして、是非1年前倒しで来年度からコミュニティ・スクールを始める意気込みを見せてほしい。
- ◎ 太田地区の総会で、花巻清風支援学校との連携が重点項目の3番目に掲げている。

#### 【D委員】

- ◎ 道の駅はなまき西南が8月7日にオープンする。定期株主総会で清風支援学校の工芸作品の販売・展示を提案している。高等部木工班の椅子はすばらしい。みんな欲しがると思う。会社で購入して、展示するとともに販売したい。
- ◎ 子供たちに道の駅に来てもらって販売してもらおうと、地域連携にもつながる。

#### 【A委員】

- ◎ 初めて子供たちの活動を参観した。きめ細かく指導していることに感心した。
- ◎ コミュニティ・スクールについては、地域連携主任が話したことに尽きる。やらされ感があると重荷になる。クップ交流のように先生方が地域に出向いて顔が見える存在になることが大事である。
- ◎ 振興会だより「ふれこと」に清風支援学校のことを掲載して発信してもらっていることは素晴らしいことである。
- ◎ 学校現場でのコロナの影響は、どのような課題があるか。

#### 【B委員】

- ◎ 地域連携主任の説明は、目指す生徒像がはっきり図式化していてわかりやすかった。
- ◎ 成果を求めすぎず、働き方改革に逆行しない程度に取り組んでほしい。
- ◎ コミュニティ・スクールは、広島等の先進県では10年経過している。10年スパンで見通しを立てながら、長い目で続けていってほしい。
- ◎ 地元の小中学校も仲間として取り組んでほしい。

#### 【E委員】

- ◎ 昨年度の小学部のリンゴ狩り等の活動は自分自身が楽しんでいた。子供たちの成長を見ることを励みに、自分自身も健康でいることに気をつけたい。
- ◎ 地域の農家には、元気な老人がいっぱいいる。子供たちと関わりを持ってエネルギーをもらっている。是非、コミュニティ・スクールをやってもらいたい。
- ◎ ハロウィンのカボチャは道の駅に並べたい。児童生徒の皆さんにも関わってもらいたい。

#### 【F委員】

- ◎ 自分は隣の地区に住んでいるが、太田地区の活動は常々すごいと思っていた。
- ◎ 地域は、何かあったときに手伝って、助け合っていくところ。地域の皆さんに学校に来てもらうことが一番大事だと思っている。
- ◎ P T Aとしてやれること、お手伝いできることがあれば何でも言ってもらいたい。

#### 【G委員】

- ◎ 学校目標を「仲間とともに 今を主体的に」に変えてから今年で3年目となる。パラダイムシフトとして、日本一楽しい学校を作ることを目指し、やりながら考えることをモットーに共生社会を実現させたいと考えてやってきた。
- ◎ コミュニティ・スクールの基盤作りに着手することを今年度の重点項目に掲げさせてもらったが、先ほど地域連携主任の素晴らしいプレゼンを聞いて、よくぞ短期間にこれだけのプレゼンを準備していただいたと感謝している。
- ◎ 今日は、3つのことをお願いしようと考えてきた。その1つ目は来年度からコミュニティ・スクールをスタートさせてほしいということ。
- ◎ 2つ目は、学校要覧の4ページ「学校経営組織機構」にある幹事会の活性化を図ってほしい。幹事会メンバーには自分の学部だけでなく、他学部のことも考えてほしい。幹事会の意義をもう一度考え直してほしい。
- ◎ 3つ目は、チーム花清をラグビーに例えてお伝えすると、トライするためには一人が飛び出し、周りがフォローしていく。1人でただ突っ走ってもタックルを受けるが、フォローする仲間にパスを託してトライに繋げる。これは学校組織に役立つと思っている。ボールを持って飛び出す人が地域連携主任であり、フォローするのが幹事会のメンバーである。

#### 【セレモニー部長】

- ◎ 本校創立50周年事業に向けて、子供たち自らが自分の学校の記念行事をお祝いする気持ちを大事にしたいと考えている。
- ◎ 周囲がお膳立てするのではなく、新しいことではなく、日頃取り組んでいることを50周年事業につなげていきたい。貯水槽のペンキの塗り直しは、その題材として有効である。
- ◎ 改めて地域の皆さんと一緒に協議していきたいと思っている。コミュニティ・スクールの熟議をしたいという気持ちに火がついている。

#### 【校長】

- ◎ 県内の特別支援学校16校でコミュニティ・スクールに向けて動いているのは、今のところ本校のみである。前向きなご意見ご提言を多数ご発言いただき感謝申し上げます。今後とも、校内の合意形成を図れるよう職員会議等で検討していきたい。

#### V その他

- ・ 今回の議事録を後日郵送するとともに、学校のホームページに氏名を伏せて掲載させていただくことについて了承を得る。
- ・ 第2回は10月、第3回は2月に予定している。後日、日程調整させていただく。

#### VI 閉会